

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうさくら 浜北東教室

保護者等数(児童数) 17名(21名)

回収数 17件(割合100%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	4			・みんなで一つのことをしたりしていると聞くので十分にあると思う。	子どもの人数や活動への必要性に応じて教室を使い分けたり、空き地を活用したりして、活動をさせて頂いております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			4	・子どもの一日の様子をしっかりと教えていただけるので大丈夫だと思う。 ・職員が何人いるのか分からない。	職員配置は適切な職員の人数を確保し運営させて頂いております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		2	・部屋が活動によって分けられたりするので大丈夫だと思う。	基本的に玄関以外は段差のない建物構造となっておりまして。また、過度にバリアフリーを必要とするお子様の利用がないのが現状となっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				・掃除をみんなでしたりすると聞くので大丈夫だと思う。	衛生面に関しては職員も毎日頃気を付けていて、お子様たちにも教室の使い方等についてお声掛けさせて頂いております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1		1	・職員の入替わりが多かった時があり、一時期不安な時があった。 ・こだわりをしっかりと受け入れてもらえていると思う。	職員研修や通常時の職員間の情報共有を行ない、若手職員の育成に力を尽くしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			3	支援内容と同じ。	現在支援プログラムを作成しておりますので、今後は支援プログラムの共有・それに沿った支援を継続させて頂きます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16			1	できる、できないなどを伝え、それをどう支援するかしっかりと考えてくれます。	お子様の日々の様子や保護者様との面談等から、スモールステップで目標を考え個別支援計画を作成させて頂いております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1	・どう支援していくか、どんな風にできるようにするか、しっかりと教えてくれる。 ・支援内容の分かりやすい。	個別支援計画の作成段階から具体的な支援をイメージし、計画を作成させて頂いております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1		2	・行われると思う。	職員で個別支援計画を共有し、統一した意識の中で支援させて頂いております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		1	・いろんな遊びを通して工夫されていると思う。	活動内容を考える際に職員で意見を持ち寄ることで、活動が固定化しない様に心掛けております。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9		3	5	・演劇を見に行ったりしているので交流はあると思う。	お子様同士の交流はありませんが、毎年、放課後児童クラブ主催の演劇鑑賞会にご招待頂いております。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1			・説明があった。	利用者負担等については、ご契約時にご説明をしております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				・しっかりと丁寧に説明があった。	支援内容については、個別支援計画と一緒に丁寧に説明をしております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15		1	1	・年に1度が大学の先生などから話を聞く機会がある。	外部講師の方をお招きして、年に1度講演会を開催し、保護者様の育児に関する悩みへの支援を行わせて頂いております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15				・送迎の時に話したりするのでできていますと思う。	送迎時にその日のお子様のご様子を伝えることは職員一同心掛けておりますので、今後も継続させて頂きます。
	16	定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1			・面談でもしっかりと子どものことや些細なことでも話ができ支援されてると思う。	個別支援計画のモニタリング以外にも、保護者様のご要望がある際には面談を行い支援方針と一緒に検討しております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1	・一人ではなくみんなで見てくれているのでいろんな人から共感があると思う。	お子様への共感も勿論、保護者様の育児への悩み等に関しても共感しながら、支持的な支援を心掛けております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4	3	1	・年に1度利用している親御さんと話したりする機会があり、しっかりと支援がされていると思う。 ・兄弟向けのイベントなどあるんですか？	年に1回の講演会を中心に保護者の方々への支援を行っておりますが、保護者様同士の横のつながりについては、今後検討して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			2	・迅速な対応をさせていただいている。	お子様や保護者様から頂いた相談については、迅速に職員間で共有し対応策を考えております。また、面談を希望される場合も日程を調整しお話をする時間を取らせて頂いております。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1		・子どもと一緒にいる場所で確認をしてくれるので、先生とも2度確認できるので安心します。	送迎時や連絡帳にてお子様の様子をご報告し、日本語が難しい保護者様には翻訳アプリを用いてやり取りをしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2		・最近イベントの様子が分からずなので発信してもらいたい。	イベントの様子はLINEのタイムラインにて公表しておりますが、保護者様に公表を周知する方法を検討して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			・こぼんさんを利用している人しか見れないので安心しています。	個人情報の扱いは職員に常日頃から注意を呼びかけ、他機関と連携が必要な際には事前に保護者様に許可を頂いております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			・避難訓練などを定期的に行っているため、イメージトレーニングもしっかりと行っていると思う。	各マニュアルの策定・更新は随時行い、保護者様には書面にてお知らせしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			・しっかりと行っていると思う。	年4回以上の防災訓練実施や、職員のみでの防災研修にも積極的に参加しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			・病気などで対応が必要な時もしっかりと子どもの安全を確保してくれている。	お子様の急な体調不良時には事務所を臨時スペースとして開放したり、外活動では職員が道路・駐車場を意識したり、安全に配慮した活動をしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			・送迎や発生した時にすぐにお知らせしてくれています。 ・事故等が発生したことがないので分かりません。	お子様の怪我や体調については、重大な場合は直ちに連絡させていただいたり、細かいものについては送迎時・連絡帳にて迅速に共有させて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17			心を許せる先生が多いので安心していただいているとおもう。	お子様との信頼関係を築けるよう、職員も楽しむときは全力で楽しんだり、メリハリを持った支援をさせて頂いております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	4		・利用中にトラブルがあると嫌々になっている。 ・毎回「嫌だ」と言っているため、何とも言えない。	お子様に楽しんでいただけるような集団遊びの提案や雰囲気作りを、職員一同、より一層取り組んで参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17			・いつも迅速な対応と支援が丁寧で感謝の気持ちでいっぱいです。	今後もお子様や保護者様に満足して頂ける教室運営に努めて参ります。よろしくお願いたします。

公表日

2025年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 浜北東教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・人数が多くなってしまう場合は、2部屋(プレイ・スタディ)に分けて活動する。	活動の人数や内容に応じて、教室の使い方を柔軟に対応したり空き地を活用したりと、スペースを工夫して参ります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・新しい職員が増え、配置人数は確保されている。	教室のお子様的人数や様子によって、職員も臨機応変に対応し、新しい職員にも意識の共有をして参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・写真などを使い、おもちゃ等を正しい場所に戻せるよう工夫していない。また、バリアフリーにはなっていないが、現在必要な利用者はいない。	現状、車いすの利用や身体にハンデを抱えるお子様の利用はございません。状況に応じてバリアフリー化を進めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎日掃除をし清潔感を保っている。 ・子ども用の椅子や机などの劣化があるので早期交換をした方が心地いい空間で活動ができる。	清掃や必要箇所の消毒は今後も継続していきます。備品について、必要性を検討しながら新しい物を導入させていただきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・リトムや本人からの相談ごとがあった場合、事務所やスタディを使用し、話を聞く。	お子様のプライバシーへの配慮を忘れず、必要な際は個別空間を確保できるように今後も努めてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・午前中の空いた時間を使い、子どもの面談結果を職員ミーティングなどで共有・改善点を話し合う。	全職員が一度にミーティングに入るのが難しい時もありますが、周知事項の共有を議事録等を使いながら行なって参ります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・保護者用アンケート実施。実現が難しい意見があるが、なるべく実現をしようと工夫や改善を日々考えている。	事業所評価の保護者様の声を真摯に受け止め、職員への周知や改善できるものから順次改善するよう努めて参ります。
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・昨日あった出来事を次の日のミーティングで話し合い、改善点を話し合う。	ミーティングで出来事の話合いをするだけではなく、その後の対応等についても検討し具体的な案を考えて参ります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		4 ・実施していない。	現状、外部評価は行われておりませんが、関係機関との連携において各機関の評価を業務改善に繋げるよう努めております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・研修の機会や内容は豊富だと思う。	全員が参加出来ない研修もあため、その際は研修報告等を行い全職員に研修内容を共有できるように行なって参ります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2	・2024年の11月から支援プログラムの作成の練習と実施を行っている。	現在プログラム作成をしておりますので、今後プログラムを公開できるよう準備いたしております。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・支援計画を作成するまで子どもと保護者の方の意見をしっかりと聞いている。	お子様の様子や保護者様の考えをアセスメントし、それを職員間で共有しながら個別支援計画を作成しております。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・子どもたちが来る前のミーティングの時間で支援の方法について話し合っている。	職員でのミーティングを密に行うことで、全職員が共通した意識を持って支援できるよう努めております。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・個別支援計画を全職員が目を通している。また、職員の中にある程度の支援の方針はある	作成された個別支援計画を回覧し、全職員が計画書に目を通した状態で支援しております。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・子どもたちの日々の様子を業務日報に残して職員間で共有している。	教室で標準化されたツールを使うことはありませんが、他機関が実施した検査結果を共有して頂き、それを踏まえて支援しております。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・カンファレンスを実施し職員全体で作っている。	個別支援計画の作成段階から具体的な支援をイメージし、計画を作成させて頂いております。今後も引き続き具体的な内容を想定しながら、計画書を作成して参ります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・職員間で様々な活動内容を挙げ立案し、どのように進行するか話し合っている。	活動が偏らないように職員で意見を出し合いながらプログラムを検討しております。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・上記同様。 ・過去に活動した物をリメイクなどをし、様々な内容を取り入れている。	長期的にも活動内容がマンネリ化しないよう工夫していきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・個別、集団活動どちらもそれぞれ得られない経験を理解し、支援をしている。	集団では集団の、自由時間では自由時間の、それぞれ意図を持った時間であることを意識して支援をして参ります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・ミーティングの際に活動内容、配置などの発表を行っている。	事前に役割を決めることで業務の明確化に努めておりますが、さらに改善できることはないか検討していきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		すぐに伝えなければならない物に関しては、すぐに伝え、伝えられない場合、メモ残し、翌日直接伝える。	反省点の共有はミーティング等で行われている為、良かった点等についても今後扱う機会を設けていきます。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	・日報に記入にミーティングの際に改善点について話し合っている。	日報に記入することの重要性を職員で共有し、次回の支援の参考や改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	・半年に1回は子どもと面談を行い、保護者とも年1回、または必要なタイミングで面談を行い情報を見直している。	定期的なモニタリングの他、状況に応じた担当者会議や計画のアップデートが必要な際には適宜見直しを行なって参ります。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	4	・集団活動や自由時間、季節工作、外食体験等、様々な活動を取り入れている。	日々の活動や季節イベント等様々な活動を取り入れておりますが、職員全体にも「4つの基本活動」の周知をして参ります。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	・指示のみではなく、選択肢を提示して、「あなたならどうする？」のように子どもに決めてもらうような関わりをもちようとする心掛ける。 ・会議の場には、先発者が出席しており、その児発管も職員から該当児童の日々の様子を聞いて、会議に参加している。	学習や遊びの場面でお子様たちが自己決定する機会を今後も取り入れて参ります。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	・必要時には、学校等、積極的に訪問し連携している。	会議に参加出来る職員は限られておりますが、参加した職員から全職員への周知を徹底して参ります。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	・必要時には、学校等、積極的に訪問し連携している。	学校を中心に各機関と連携できる体制を整えております。また、医療とも連携できるような関係づくりに努めて参ります。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	・送迎時には、先生たちと話し、連携しやすい関係作りを意識している。	全職員が先生方との関係作りを意識し送迎等に行っております。今後も先生方と関係を築きながら、円滑に情報共有できる関係を維持して参ります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	・訪問し、情報の共有に努めている。	直接訪問できる機会は少ないですが、必要な情報は適宜問い合わせを行い情報を集められるよう努めてまいります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	・放課後等デイサービスから福祉サービスへの移行がまだない。	今後お子様たちの成長につれて福祉サービスへの移行機会が出てくるため、現段階から様々な機関との関係づくり・情報収集を行なって参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	・外部研修に積極的に参加している。	スーパーバイズを受ける機会はないですが、研修に参加する事で必要な時に連携できる専門機関と関係を築いて参ります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	・毎年児童会のイベントに招待してもらい、交流を深めている。	児童クラブのイベントに参加はするものの、お子様と直接遊ぶ機会はないため、交流の機会を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	・オーナー自ら積極的に参加してくれる。	オーナーや施設長が参加する協議会等の内容について、必要事項は他職員にもフィードバックするよう努めて参ります。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	・送迎時等でも保護者と話しをし、常に情報共有を行っている。	送迎時に保護者様と情報を共有することで、保護者様とも共通の意識等を持って支援出来る様引き続き継続して参ります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	・毎年外部から講師を招き、保護者向けの講演会を実施。	年に1回行われる講演会について、保護者様のニーズを考えつつ開催を継続して参ります。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	・契約時の説明や法改正のタイミングで全ての家庭に説明している。	契約等のタイミングでの説明に加え、質問がある際にはいつでも回答できる体制づくりをしてまいります。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	・保護者の要望を面談で聞くだけではなく、子どもの思いも聞くために面談を行い、その内容を職員間で共有している。 ・子どもの意思がわかりづらい。	お子様によっては意思確認が難しいこともあるため、面談の方法や話の聞き方を検討して参ります。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	・新しい計画を作成した際には、作成者が保護者に手渡し計画を説明、同意を得ている。	引き続き、モニタリングの中で保護者様の意向を確認し、手渡しする際には丁寧に説明を行っていきます。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	・保護者からの要望があれば面談を行い、支援している。	保護者様の悩みを発信してもらいやすい関係づくりを行い、支持的な支援を心掛けて参ります。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	・保護者会等の機会は少ないが、日々の活動の中で兄弟での交流は行われている。 ・保護者会という名称の組織は構成されていない。 ・保護者同士が集い合える機会や場面に	講演会の際に保護者様が集まる機会はありますが、保護者会としての場は設けられていないため、今後の方法を模索して参ります。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	・苦情があった際にはすぐに報告し迅速に対応、共有している。	まずは苦情が出ない支援を第一に考えつつ、苦情が出た際には迅速に対応できる体制作りを整えて参ります。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	・月初に翌月のイベントに関する手紙を出し、イベント後はSNSを用いてその様子を保護者に共有している。	イベント後のSNSでの報告について、可能な限り早めに発信できるよう努めてまいります。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	・個人情報の書かれた紙はすぐにシュレッダーし、持ち出さない。	引き続き、個人情報の取り扱いについては全職員で留意してまいります。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	1	・子どもに対しては口頭指示だけではなくスケジュール表をホワイトボードに提示したり、できるだけわかりやすく具体的な言葉で伝えたりしている。 ・外部講師を招いて、保護者への講演会を行う際に、市内の他のこどもはうすの保護者にも呼びかけをしている。 ・地域住民との接触はほとんどない。	お子様の状態に合わせた伝達の方法を工夫すると共に、保護者様への分かりやすい伝え方も一層検討して参ります。
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	・外部講師を招いて、保護者への講演会を行う際に、市内の他のこどもはうすの保護者にも呼びかけをしている。 ・地域住民との接触はほとんどない。	地域のお弁当屋さんや施設を利用して頂く機会はあるため、今後地域住民の方との交流の機会も検討して参ります。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・ヒヤリハット、虐待、感染症に関してマニュアルを用いて研修を行っている。	マニュアルに関する研修を行う事で、全職員が我が事として考えられる環境づくりに努めております。今後も、訓練後にご家族にも実施の旨を報告していきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・防災、避難訓練は定期的に行っている。（3ヶ月1回）	地震や豪雨等、様々な災害を想定した訓練をしております。引き続き、実際に想定した訓練を継続して参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・送迎、リトムにて服薬や予防接種、診察などを聞き、職員間で共有している。	薬については保護者様に状況を共有して頂いておりますが、必要があればこちらからも確認するよう努めてまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・保護者の方と相談をし、アレルギーが多い子どもに関しては、自宅からおやつを持参する。 ・子こまで多くない子に関しては、おやつ	アレルギーは職員で共有し、おやつ等配慮しております。保護者様にも定期的に確認し安全な対応を継続して参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・月ごとの計画を定めて、実施している。	職員で検討し安全計画を作成しております。必要な際には更新も検討し、改良して参ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	・2025年度から保護者の方々へ安全計画、支援プログラムを公表する。	防災訓練時にはご家族に実施報告をSNSで行い、非常時の連絡手段として連絡できる状況を作っていたいております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・年2回のヒヤリハット研修を行われている。	ヒヤリハット事例検討会を行うことで、具体的な対応策を検討しております。今後も検討会を継続して参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・虐待関する研修やアンケートを実施している。	虐待に関する研修を行う事で意識を高めつつ、職員間でも日々の支援について率直に意見交換できる環境作りを行います
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	・現在、身体拘束は行っていません。	現状、身体拘束が必要なお子様はいらっしゃらないため、必要な際には丁寧な検討と保護者様への説明を心掛けていきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら浜北東教室			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 7日		～	R7年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17世帯	(回答者数)	17世帯
○従業者評価実施期間	R7年 1月 7日		～	R7年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携をして支援を行なう体制を整えている。	保護者に事前に許可を頂きながら、各関係機関とのケース会議や情報共有を頻繁に行ない、日頃の支援に反映させている。また、相談担当者等には、教室にも足しげく通って頂きながら、日頃の支援の様子やお子様の様子等について知って頂く機会を設けている。	今後も関係機関の方々からご意見を伺いながら、より良い環境設定と支援を行なえるよう努力していく。
2	活動プログラムが固定化しない様工夫を心掛けている。	心理や作業療法などの専門職だけでなく、普段お子様と関わる全ての職員が参加して、プログラムの内容や実施についてのミーティングの時間を多く設けている。また、お子様からのリクエストも随時受け付けながら、活動内容を決めている。	研修等に参加した際に他の事業所の取組等を教えて頂いたり、ネット等も活用しながら、常に新しい活動プログラムを提供できるよう努力していく。
3	幼少期からご利用頂いているお子様たちが、中学、高校とライフステージが変わっても利用を継続して下さっている。	学年やライフステージに合わせた活動内容を提供するよう心掛けたり、保護者や本人のご意向やご希望についてお話を伺う機会を多く設けている。	進学先や就労先についての情報等が常に最新であるよう、色々な場所に日頃から足を運んでいきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	No18.「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、兄弟向けのイベントの開催等により、兄弟同士の交流の機会が設けられるなど、兄弟への支援がされていますか。」の設問に対し「いいえ」が3票ありました。	放課後の時間は保護者様も就労をされていらっしゃる場合が多く、日程調整が難しいと感じます。	年に1回、保護者を対象に外部から講師をお招きして講演会等を行なっておりますので、その前後の時間にフリーカフェスタイルの交流の場を提供したり、運動会でご見学頂く際に気軽に交流頂くための配慮等を検討していきます。
2	No11.「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。」との設問に対し「いいえ」が3票ありました。	放課後児童会の皆様とは研修や会議等で支援者同士が顔を合わせる機会があり、演劇鑑賞会にお招きいただくなどの交流はさせて頂いております。地域のお子様との交流となると、活動場所の問題や保険等の課題が考えられます。	地域の子供会というよりは、自治会との連携を図り、防災訓練等に参加させて頂くところから、少しずつ交流を図らせて頂くことを検討していきたい。
3	従業者向けNo9.「第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか」との設問に関して。第三者機関からの評価は現状実施されていない。	協力をお願いできる外部機関の選定基準等を明確にしていく必要がある。	系列グループ間では、評価や協力体制の整備が行われているので、今後は第三者機関の選定等についても検討していきたい。